

# ノリ養殖情報 (第10報)

令和4年12月21日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

今回の調査は10回目です。  
今年度の調査は、陸上調査を月に3～5回の合計22回予定。  
年内の調査は今回が最後で、次回は令和5年1月4日(水)の予定です。

## 1. 調査結果

調査日: 12月19日(月) 天候:曇り 気温:7.0 (9:25時点)

(今回(12/19)の水温等の測定時間帯 9:25～12:45) 前回と調査時間帯が異なります。

(前回(12/12)の水温等の測定時間帯 3:50～6:55)

調査点		水温		比重 15	栄養塩:無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 12月12日	今回	今回	前回 12月12日	今回	アカ	ツボ
1. 長崎鼻	支柱	9.7	11.4	20.5	/	2.1	/	/	/
2. 神代	支柱	8.9	10.5	20.2	4.7	6.1	9.5	なし	なし
3. 多比良	支柱	10.7	12.8	20.6	5.7	2.6	3.3	なし	++
4. 大野浜	支柱	9.7	12.2	20.4	9.2	7.5	3.5	なし	+
5. 半田	支柱	9.9	13.3	20.9	11.5	10.2	6.2	なし	なし
6. 三会	支柱	10.8	13.3	20.6	16.3	12.5	10.1	/	/

長崎鼻の栄養塩、クロロフィルa値の調査は、隔週で実施。

栄養塩の期待値は7.0μg-at/L以上です。

アカ、ツボ: なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

## 主な植物プランクトン (単位:細胞/ml)

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻		
	スケルトネラ属	キートセロス属	クラシオネラ属
3. 多比良	240	0	17
4. 大野浜	113	0	30
5. 半田	429	7	26

## 調査結果概要

・水温は、8.9 ～ 10.8 。 海水比重( 15)は、20.2 ～ 20.9

・漁場に設置している温度計の12月12日から12月19日迄の測定結果は、平均温度は10.0～11.6 で、昨年より0.8～1.0 低く推移しました。

- ・栄養塩は、4.7～16.3  $\mu\text{g-at/L}$ で、5観測点中3点でノリ養殖における期待値7.0  $\mu\text{g-at/L}$ を上回りました。
- ・ツボ状菌は、多比良で肉眼レベル、大野浜で顕微鏡レベルが確認されました。
- ・植物プランクトンは、スケルトネマ属(最大429細胞/mL)が優占していました。

## 2. 赤潮発生状況

佐賀県:有明海筑後川河口域から東与賀町地先にかけて珪藻類(スケルトネマ属)による着色域が確認されました(12月15日)。

熊本県:荒尾市地先と宇土市赤瀬地先で珪藻類(スケルトネマ属)の赤潮が発生しています(12月15日)。

## 3. 他県の情報

福岡県:現在、5割程度の網が撤去されています。あかぐされ病が9点(重度又は大量感染4点、中度1点、軽度4点)で確認されました。色落ちが8点(中度3点、軽度5点)で確認されました(12月19日)。

佐賀県:あかぐされ病が24点中16点(流出直前レベル3点、肉眼視レベル10点、顕微鏡レベル3点)で確認されました。色落ちが24点中4点で確認されました(12月6日)。

熊本県:あかぐされ病が15点(軽度2点、中度10点、重度3点)で確認されました。ハタキが進み、秋芽網の撤去が行われています(12月19日)。

## 4. 本県の情報

浮き流し漁場と支柱漁場の一部で摘採が行われています。支柱漁場でやや色調が低下していました。

### ノリ網の検鏡結果

- ・ツボ状菌が2漁場で確認されました。あかぐされ病は確認されませんでした。
- ・葉体が短くなっている網では葉体先端の欠損、細胞壊死などが見られました。
- ・付着物はリクモフォラ、アクナンテスが確認されました。
- ・葉長は7.1～90.3mmの範囲で、平均は16.0～59.3mmでした。